



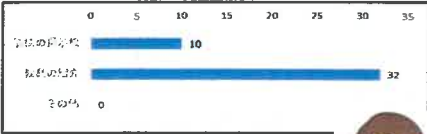
訪問看護版インターンシップニュースレター Vol.1



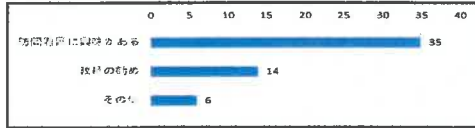
インターンシップでは、こんなことを経験しました！

令和3年3月、看護学校・大学が春休みの期間に広島県看護協会では、訪問看護インターンシップを実施しました。試行段階の第1回は、県内の3つの大学に案内を行い、総勢67名の希望者のなかから、1日コース20名、半日コース19名がインターンシップに参加し、大好評のうちに終了しました。

1 インターンシップはどこで知りましたか

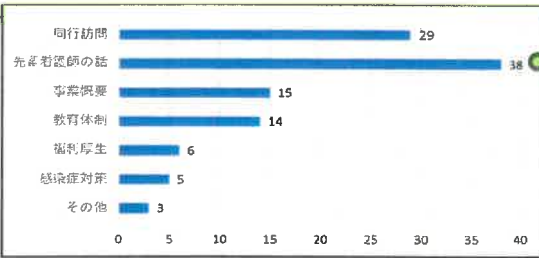


2 参加の動機



- ・実習を通して患者さんたちの実際の日常生活に興味をもったため
- ・訪問看護と病院看護の違いを知りたかった 等

3 インターンシップのどんなところに興味がありましたか

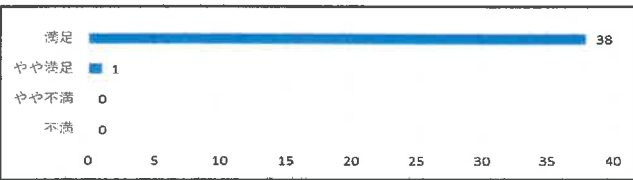


先輩看護師が訪問看護のやりがいや魅力について熱く語ってくれました。教育体制が整っているかも心配事でしたが、先輩の話聞いて安心したようでした。

その他の意見

- ・患者さんの生活環境、日々の生活の中での看護
- ・ステーションの雰囲気
- ・災害時の看護

4 インターンシップは満足しましたか



学生の感想

- ・訪問看護は看護の力で利用者のQOLが改善できることを知り、すごいと思ったし、魅力を感じた。
- ・訪問看護に就職するにあたり、不安に思うことは手技の習得や、どうやって独り立ちするのかということだったが、教育体制が整っていて安心した。病院とは違い重症化予防に重きをおいた看護や不安への精神的支援など具体的な内容のお話をきくことができ、より訪問看護に興味を湧いた。
- ・去年、在宅看護の授業を受け、興味があり参加したが、同行訪問により訪問看護師の役割を自分の目で見て学ぶことができた。一人で訪問し、一人でケアしたり、利用者・家族とコミュニケーションをとるのは大変そうだが、やりがいを感じられる仕事ではないかと強く思った。
- ・同行訪問をして、利用者がどんな生活をされているのか学べ、とても勉強になった。やりがいも教えていただき、インターンシップを受ける前よりもより興味を湧いた。まずは看護技術をしっかり身につけ、将来訪問看護師になれるよう頑張っていきたい。

どんなことに満足したの

- ・授業だけでは訪問看護のイメージが湧かなかったので、良い経験になり、将来やってみたいと思った。
- ・同行訪問をし、実際の様子を見ることが、働き方のイメージがしやすく、わかりやすかった。
- ・病院実習しか知らないため、訪問看護がどのように行われているか学びたいと思い参加したが、病院と比べて一人の対象者と関わる時間が長い分、親密に関わっており、とても温かいと感じた。多くのことが学べてよかった。
- ・働いている人の話を聞くことができ、漠然としていたイメージが具体的になった。
- ・先輩看護師が大きな靴の中を見せてくれて、病院とは違う自宅で看護を行い、療養者を助けるためのアイテムがいっぱい入っておりかっこいいとおもった。一番の衝撃だった。



訪問看護ステーションの看護管理者の感想

事例を含めた先輩看護師の話に興味をもち、質問も多く出た。具体的なイメージができ、訪問看護を卒後の就職先として興味をもったという意見もあり、インターンシップ後に訪問看護への関心が高まったと感じた。

看護学生が就職場所として在宅を具体的にイメージができる事業と感じた。

事例を用いた先輩看護師の話で具体的イメージをもち、「訪問看護に魅力を感じる」という意見が多かった。また、卒業後の進路に訪問看護を視野にいれている学生もあり、教育体制についての質問もあり、意欲的に参加していた。

他にも...

1日コースのインターンシップでは、1~2件の同行訪問を経験しました！
糖尿病、がん末期、脳梗塞後遺症、脳血管疾患などさまざまな疾患の利用者さんのご自宅に訪問し、

- ・足浴
- ・在宅酸素の管理
- ・インスリン注射
- ・保清
- ・排泄援助
- ・クアマネとの連携

など多くのことを経験させていただきました。



学生の関心事 No.1



- Q: 教育体制はどうなっていますか。
新卒看護師が訪問看護で働くのは難しいですか？
- A: 『新卒等訪問看護師育成マニュアル』に沿った新人看護師を育成するプログラムがあり、年間を通して研修ができる体制があります。連携する病院に医療処置の技術習得のため実習に行くこともあります。

訪問看護に関心があり、卒業後の就職先として訪問看護ステーションを検討している学生の皆さん、ぜひ夏休みを利用してインターンシップに参加してみませんか。ぜひ、お待ちしております。

